

事業所名		キッズ倶楽部		公表日		令和 8年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	個室が少ないため、衝立で区切るようにしている。	療育室が狭く、活動スペースが限られる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		床の色分けをし、活動場所を分けている。	玄関に段差が多い、入り口が狭い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	敷物などを敷いて対応している。	冬場、床が冷たい。床が滑りやすい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個室の利用を時間で交代したり、衝立で場所を作ったりしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	活動の際、起案書→振り返りを行い、改善に繋げている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	会議で話し合いの場を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	内部研修を行っている。 強度行動障害の外部研修への参加。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	アセスメント表の作成を行った。今年度見直しを要す。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	運動や制作活動など、組み合わせている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	個別に活動に取り組む時間と、集団活動の時間を設けている。		

事業所名 **キッズ倶楽部**

公表日

令和 8年 3月 30日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		利用者の情報共有、送迎の確認等を行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		1日3回ミーティングの実施、申し送りノートの活用	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		個別支援計画の支援目標に沿って記録を行っている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年ごとのモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	1	ガイドラインの周知徹底を行う。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	2	本人に話を聞き、自己決定を進めている。 課題の内容や活動の参加など、自己決定を尊重している。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		学校・保護者より下校時刻表を頂き、必要時に連絡調整を行っている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	相談支援専門員の協力の元、訪問等を行っている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	卒業後の移行先の事業所と連携を取り、情報共有を行っている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	5		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	長期休みに町内行事に参加。	児童クラブ等との交流は行っていない。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	6		三条市は自立支援協議会がないため
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時に利用時の様子をお伝えしている。 連絡帳の活用。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	情報を集め、保護者に伝えられるようにする。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	2	子どもに対してもアセスメントをしていく。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	1		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	助言できるよう、職員の知識を深める。	

事業所名		キッズ倶楽部		公表日		令和 8年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	4	令和7年度は保護者会を一度開催した。		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	2	苦情受付担当者、解決責任者を定めている。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		おたよりを毎月発行している。LINEやインスタグラムを活用し、空き情報や連絡事項など発信している。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	絵カードやホワイトボードを使い視覚的に提示をしている。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年2回の消防訓練の他、災害対応訓練も行っている。 AED講習会の実施。		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		9	食物アレルギーの方がいらっしゃらないため		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	外出の際安全を考慮している。 安全計画の周知徹底を行う。		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット記入用紙、事故報告書を作成し、職員間で振り返りを行い、防止策を検討している。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待・身体拘束防止研修をそれぞれ行っている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9					